

令和3年 市政ふれあい懇談会要旨

- 開催日時 令和3年5月15日（土） 10時～12時
- 開催場所 我孫子北近隣センター（並木本館）
- 参加者 市民25名
- 出席者 星野市長、廣瀬総務部長、小林企画財政部長、隈市民生活部長、三澤健康福祉部長、柏木環境経済部長、南川建設部長、森都市部長
他管理職員等14名

■懇談要旨

市 民：公園坂通りについて提案です。一方通行ではなく、車と歩行者と一緒に走れるような、川越市のようなものだと思います。今は歩行者部分が細いため、早期の実現をお願いしたい。手賀沼があるため、近隣からも人が来てくれるのではないかと思います。

建設部長：まずは久寺家線の整備を行い、その後、公園坂の整備となります。
今後も皆さんの意見を聞きながら整備を進めてまいります。

市 長：まずは近隣、自治会に説明をしております。生活者の皆様から意見を伺いました。今後は、それ以外の方からもパブコメ等でご意見をいただきたいと考えております。

市 民：最後の方に跨線橋の話があったが資料がなかったので、もう一度、説明をいただきたい。

建設部長：前は白山跨線人道橋の塗り替えを実施しました。今年の6月ごろには施工が開始できると思われまます。今回については歩道橋の裏側を中心に補修工事を実施する予定です。工事時間は、終電が終わってから、始発が始まるまでに実施する必要があるため、工事期間は長くなってしまいます。利用する方に支障が出る場合には、周知をしてまいります。

市 民：今度の道路の新設についてです。寿防犯ステーション前の信号機ですが、新設道路ができることによって、信号と、横断歩道が撤去されるとうわさで聞きましたが、今年も25名の小学生が利用しています。あれがなくなると、迂回することになってしまい、抵抗があります。個人的にはあのまま残してほしいと考えています。信号機を同期させるような形で、今の信号機を維持してほ

しいと思います。検討願います。

建設部長：市としても、新設道路の工事に伴い、信号機がセブンイレブン前に移動する予定であることは確認しております。信号機については千葉県警が管轄となり、現状では移設することとなっておりますが、ご意見や現状を引き続き県警に伝えていきます。交通管理者は警察で、決定権は警察にあるということをご理解ください。

市民：ワクチン接種について。HP 見ると4つのカテゴリーに分類されています。65歳以上、医療従事者、基礎疾患、若い人。医療従事者への接種は終了しているのでしょうか。5月の83歳以上については来週に送られるとのことですが、ここら辺のスケジュールはどのようになっているのでしょうか。また、分類はどのようにされているのか、お聞きしたい。

2点目は、我孫子市民に打ち終えるのは、いつ頃と考えているのでしょうか。

3点目は、PCR検査についてです。センターは終了したとHPに掲載されていきました。個々の病院が検査機を導入し、個別に行うという理解でいいのでしょうか。4点目は、保健所についてです。なぜ柏ではなく、松戸に頼んでいるのでしょうか。

市長：まずはワクチンについてです。今月末までに医療従事者に行います。これは本来、県の仕事です。それを聖仁会病院が引き受けてくれました。これにより、医療従事者の見込みがついたため、高齢者への接種が始まるということです。

毎週2、3歳ずつ、年齢を下げ、実施しますが、高齢者への接種完了は、8月に入るだろうと思われまます。5月は約16箱、8,000人分、6月からは、注射器もセットで送られてきます。注射器は6回分打てる注射器で、毎週、送られてくるといわれています。

基礎疾患の方は、年齢を下げ、手帳を持っている方には優先接種をしますが、それ以外の基礎疾患を持っている方は登録をしていただき、その方には、先に通知を送る予定です。市内の方すべてに接種完了するのは年内を考えています。現状は16歳以上が接種できることとなっているため、市民全員ではございません。今後の薬事承認に応じて、年齢をどうするか、国が検討していくことになると思います。国産ワクチンも現状は治験をしている状態です。年齢としては、上から順番に、65歳まで終了したら、基礎疾患を持っている方、それ以外の方、という順番で接種を実施していきます。なお、高齢者施設に従事している方は、若い方であっても、優先的に接種をする予定です。

PCR 検査センターについては、医療機関が必要であると判断した場合に、検査をするところです。市内の医療機関からの、依頼が減ったため、閉鎖となりました。市民が直接受けるところではありません。ただ、病院によっては個々で検査機器を導入したところがあれば、外部に依頼する目途がついた医療機関が増えてきましたので、そういったところをご利用していただくこととなります。

市 民：導入する医療機関はどこでしょうか。

市 長：言っていないかわからない状況です。その病院に殺到されても困りますので。ですから、受けたいとって受けられるものではないということをご理解ください。

保健所については、厚労省の出先機関です。基本は県が設置するものです。松戸保健所は東葛地域の保健所で県の機関であり、政令市と中核市は保健所を持てます。柏保健所は柏市の保健所です。松戸保健所は、松戸、我孫子、流山の保健所として、位置付けられています。船橋、柏は中核市のため保健所を持っているということです。中核市になる要件として、人口が30万人以上必要です。松戸も中核市になれます。そうなった場合は、松戸保健所が松戸市の保健所になってしまいます。そうすると、我孫子は野田の保健所か、佐倉の保健所を利用することになります。中核市になると、児童相談所も持てます。東葛地

区では、2つしかなく、まだまだ足りない状況です。我孫子も中核市になるためには、合併をすることが必要になります。

市 民：県と柏と相談して、柏保健所を使うことはできないのですか。

市 長：現状はできません。合併をするしかないということです。

市 民：湖北台の保健センターが忙しくなって、松戸市の職員が帰ってしまった。補充しないでそのままになってしまうと、医療体制が崩壊してしまう不安が出てくる。

市 長：我孫子の保健センターにいる松戸保健所の職員は感染症のためにはいるわけではなく、飲食店が保健所に届ける業務を担っています。そのため、感染症の為、職員が来ているわけではありません。今回は引き揚げてしまいましたが、これは、感染症で保健所の職員の業務量が増えたためで、当市の職員も保

健所に派遣したという経緯があります。市内で感染者が出た場合には、濃厚接触者の判定は保健所が実施します。

学校で、陽性者が出た場合で、保健所から濃厚接触者と判定されなかったが、不安な方には、医師会を通じて、希望者に対し検査をしています。

市民：2点ほど質問します。PCR検査は希望したらできるわけではないとのことでした。抗体検査をしてもらったが、これは検査数に含まれているのですか。

もう1点は、高齢者で難聴者への支援は3月議会で継続審査となりましたが、この支援について要望したい。補聴器が満足のいくものではありません。

3万円ぐらいですと、音が大きくなるだけで、あまりよくない。50万、60万のものだと、どんな方にも良い。千葉県だと浦安市と船橋市は、医者が難聴だと認めた場合には、補助を認定しているようです。浦安は3万円、船橋は2.5万円、1回限り認めています。高額なだけに我孫子市も検討していただきたい。

市長：PCR検査は、コロナに感染した際には、今の検査の中では最も正確です。

ただし、100%ではありません。抗原検査も保健所を通さないとできないわけではありません。保健所が濃厚接触と判断した場合には、国費で検査を受けることができます。ただし、不安だから、という理由では国費で検査はできません。症状をみて、医師が認めた場合には保険適用となります。検査をしたが、陰性であった場合でも保険適用となります。その場合に抗原検査にするかPCR検査にするかは医療機関が決めることとなります。PCRも抗原検査も陽性者としてカウントされますが、もう一度検査をして陰性となった場合には数が取り消しされます。もう1点の議会の継続審査につきましては、議会のことでするので、私からはお答えできません。議会で採択されるかどうかは、議会で議論している最中ですので、お答えすることは越権行為になってしまうことをご理解ください。

市民：学校等で陽性者が出た場合は、保健所で濃厚接触者の認定がされることになると思います。例えば、濃厚接触者が5名いた場合、クラスの他の方への対応はどうなっているのでしょうか。

市長：学校で、たとえば家族から感染し、クラスに陽性者が1名いたとします。

前日に、学校に出てきた場合は、まずは保健所が状況を確認します。保健所で濃厚接触者が2名いたと判断した場合には国費で、検査をします。それ以外で、濃厚接触者と判断されていない範囲の部活や、クラスの他の方については、

市費で検査をしています。その中で陽性者が出た場合には、保健所がさらに調査をすることになります。なお、このような事例は、過去に1度だけありました。

市民：公園通りについてです。資料に「歩きたくなるような。」と書かれています。それは、良い事だと思いますが、近くに住んでいるものとして、駅の交差点と、手賀沼の交差点までの間で、途中に交差点がないので、どこかにつけていただきたいと思います。また、歩きたくなる優しい街としては、成田市の参道はブロックがなく、高齢者にとっても歩きやすいと思います。車いすでも安心です。要望としては、成田市や、浦安市の例を参考にしてほしいです。

建設部長：横断歩道については、警察と協議していくことになります。道の形態と共に横断歩道についても協議してまいります。

都市部長：フラット化という案もあります。決定するためには、自動車が減らないとできません。それができればオールフラット化も実現できるかと思えます。将来的にはそのようなことが目的であり、無電中化は費用対効果を考えて、検討していきたいと考えております。

なお、道路の中には水道管などが埋め込まれております。そういった管やその他の管をどかす必要もあり、何年もかかってしまいます。それが終わってから、上物が完成するため、時間がかかってしまうことをご理解していただきたいと思えます。

市長：角松前の交差点はカーブではなく、T字路となります。そこには信号機を設置するため、防犯ステーションのところの信号が残ると、かなり近い位置になってしまいます。信号機の設置等については、県警が決めることとなりますが、地元の声は上げていただければと思います。

市民：水道会計についてです。収支と預金が増えているのか。報告書の部分を見ますと、預金が増えているのか。よくわかりませんので、詳細を教えてください。

市長：本日は水道局が来ていないので、後程、水道局の職員からご連絡して、お答えいたします。我孫子地区と天王台地区では北千葉導水事業として、県と我孫子と近隣市を含めた7市で共同事業として経営をしております。単年度では赤字ではありますが、何とかやりくりをして運営しています。十数年前に水道料金を8%値下げして、その影響でギリギリの運営をしています。八ッ場ダ

ムは治水としては大きな効果がありました。利水としては我孫子市の人口が減ってきていますので、大量に水を買うことはないようです。柏市と流山市は住宅が増えてきたので、足りなくなっているとのことですが、思川事業で栃木県の水を、治水、利水両方の役割を担う事業を進めています。ダム建設についても、まだ必要性のある事業と思っています。我孫子としては、利水よりも治水をとりいれています。

市 民：我孫子の魅力とは手賀沼だと思います。桜もきれいです。日本で10番目に入るような綺麗さになるような、プロジェクトを考えてみてはどうでしょうか。多分、行っていると思いますが。私たちも一緒になって行きたいと考えています。3年後には20位、10年後には3番目に入るようなプロジェクトを進めて、皆様に発信してほしいと思います。

市 長：水質が改善されて、水辺が癒しの空間になっています。水質は、生活雑排水が原因で汚れてしまいました。今は、まだワースト10内に位置しています。きれいな当時は、湖底が砂地でしたが、現在は、ヘドロが堆積してしまいました。これを砂地に戻したいと思っておりますが、原発事故によって、沼の底泥に放射性物質が付着して、半減期となる30年は、引き上げる場所がない状況です。以前は引き揚げていて、桜田議員ともトライアスロンができるといね、と話していた、それが現実となりました。最終的には貝が取れるようになるといいのですが、現状は魚を含めて出荷停止の状況です。よって、プロジェクトに関しては、放射性物質が付着したヘドロを引き受けてくれる場所を探す必要があるという状況です。